

会 議 録

会 議 名		令和5年度(2023 年度) 第6回八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会
日 時		令和6年(2024年)3月 22 日(金) 午後3時30 分～5時00分
場 所		八王子市役所 職員会館第2・第3会議室
出席者氏名	委 員	師岡章会長、石井淳委員、石田健太郎委員、岩本ゆりな委員、串田和士委員、久保井奈美委員、櫻井励造委員、高倉裕香委員、高橋香里委員、内藤トシ枝委員、前原教久委員、町田利恵委員、森田亮委員(会長、副会長、以下五十音順)
	説 明 者	設楽恵子ども家庭部長、松本美保子ども福祉課長、山田光子子どもの教育・保育推進課長、堀川悟保育幼稚園課長、坂野優一子育て支援課長、小俣英一青少年若者課長、小池明子子ども家庭支援センター館長、大澤吉隆大横保健福祉センター館長、柏田恒希福祉政策課長
	事 務 局	三浦哲史主査、秋元政人主査、小野涉主査、矢部越理主任
欠 席 者 氏 名		松丸渉副会長、井上竜太委員、小寺明子委員、早乙女進一委員、高橋雅美委員
議 題		報告事項 (1)子ども・若者育成支援センターの愛称決定について (2)第4期八王子市地域福祉計画の策定について (3)乳幼児期の教育・保育に関する方針について 議題 (1)次期計画の概要 (2)次期計画策定のスケジュール (3)次期計画の重点ポイント
公開・非公開の別		公開
傍 聴 人 の 数		0人
配 付 資 料 名		別紙のとおり
会 議 の 内 容		別紙のとおり

配付資料

- 資料1 子ども・若者育成支援センターの愛称決定について
- 資料2 第4期八王子市地域福祉計画(概要版)
- 資料3 乳幼児期の教育・保育に関する方針について(答申案)
- 資料4 次期子ども・若者育成支援計画の概要
- 資料5 分科会開催日程(案)
- 資料6 次期計画の重点ポイント(前回会議意見)

【松本子どものしあわせ課長】

ただいまから令和 5 年度第6回八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会を開催します。本日は委員 18 名中、13 名出席で開催要件を満たしております。(配付資料の確認)ここからは司会進行を師岡会長に代わらせていただきます。

【師岡会長】

皆さんこんにちは。今回は最後の会議ということになります。前回にもご意見いただいた次期計画の策定に向けての議論が中心になると思いますけれども、限られた時間の中で今までかかわってきた中での視点でご意見を頂けたらと思います。まず報告事項の1番、「子ども・若者育成支援センターの愛称決定について」です。市側の説明をお願いします。

(資料1について説明)

【師岡会長】

ありがとうございます。ただいまの説明について、質問ございましたらご発言ください。

【前原委員】

いい名前にしてもらったんじゃないかと思いますが、いろいろ周知をしていくという話ですが、周知がすごく重要だと思います。最近子ども・若者育成支援センターに名前が変わりましたが、児童館という名前が定着してしまっていて、今でも話をするときに児童館と言ってしまいます。周知をいろいろな方法でやって、みんなが呼ぶときに「はちビバ」に呼び方が早く変わればいいと思います。「はちまるサポート」がなかなか浸透していないのと同じだと思いますのでよろしくお願いします。

【師岡会長】

ほかにありますか。よろしいですか。

子ども・若者育成支援センターが「はちビバ」に変わったということですが、子ども・若者育成支援センターが何か、それが従来の児童館が新しく変わるもので愛称が変わるものというのを重点的にお伝えいただくと利用していただく方もわかりやすいでしょう。そのあたりも合わせて周知いただければと思います。

【小俣青少年若者課長】

ご意見ありがとうございます。これから職員とともに取り組みを進めていく中で、「はちビバ」が定着していくように、また、目指していく支援機能の拡充についても伝えていけるようにしっかり意識しながら取り組んでいきたいと思っています。

【師岡会長】

続いて、報告事項の2点目、「第4期地域福祉計画の策定について」市側の説明をお願いします

(資料2について説明)

【師岡会長】

ただいまの「第4期八王子市地域福祉計画の策定について」、何か皆様の方からご質問ございますか。

【串田委員】

8章の主な施策目標で、「重層的支援体制整備事業の認知度」は88.7%とありますが、一般の方全体で88.7%ということですか。

【柏田福祉政策課長】

この項目は、八王子市の中のいろんな支援機関に対してアンケート調査を行ったところ、制度として知っていると答えた人がこれくらいいらしかったということです。地域住民というよりは支援機関側のアンケート結果となっています。

【串田委員】

基本的には対象は一般の方ということではないということですか。

【柏田福祉政策課長】

この項目に関しては支援機関を対象としていますが、はちまるサポートは一般の方に認知されないといけないものなので、一般の方に調査を行っています。項目によって対象者を変えて現状地と目標値を設定しています。

【師岡会長】

他にありますでしょうか。

【前原委員】

今説明の中で、キーワードで「つながる」というのが出てきます。「つなげて」というのもできます。これはいろいろなところで大事なことだと思います。「はちまるサポート」が説明の中にありましたが、現在13か所で14か所にしていくとあります。八王子市は広いですがこの数で足りるのでしょうか。

【柏田福祉政策課長】

15か所で整備としては終了となっています。確かに、全体的に広いのですが、「はちまるサポート」を中心として、地域で仕組みづくりを進めていくというのが基幹形の役割の一つとさせていただいていますので、まさに今前原委員も参加されている恩方での地域づくりなどとも深く関与しながら、仕組みをどんどん作っていくことで全体を網羅していこうと考えています。

【前原委員】

確かに数の問題ではなくて、いろんな仕組みで地域同士の中でいろんなつながりで広がっていくというのが一番いいと思います。

【師岡会長】

他にありますでしょうか。

新たな地域福祉計画でつながりを生み出すための「つなげて」というところが一番計画の肝になってくると思います。ただ、「つながり」ないしは「つなげて」というものが強調されたりすると、自助ないし共助というものにシフトしがちで、公としてやっていかなければならないことが見えにくくなってしまいます。そのあたりのバランスというのも八王子市として大事にしていかなければならないし、「つながる」ないしは「つなげて」という言葉が自助を進めて欲しいというような見方をされないような、情報発信をしていくと、より大事にするべきコンセプトが生きてくるかなと思います。

では、報告事項の3「乳幼児期の教育・保育に関する方針について」、市側の説明をお願いします。

(資料3について説明)

【師岡会長】

今の報告事項について、ご意見、ご質問いかがですか。

【師岡会長】

特になしでよろしいですか。

それでは、ただいまご報告いただきました「乳幼児期の教育・保育に関する方針について」、これは公立保育園の再編ということも含めた、方針を部会の方で答申いただいたということですね。また、幼児教育・保育施設を利用される方々の意見だけでなく、園を支える業種の方々などの意見も上手に吸い上げていただきながら、子どもたちのしあわせにつながる保育施設、運営する方々にとっても有益になる保育施設になるような過程を大事にすることを、念頭に置きながら最終的なまとめをしていただけたらと思います。

以上で報告事項の三点が終了しましたので、本日の議題の一つ目「次期計画の概要」です。議題(1)～(3)が資料4～6となっております。市側の説明をお願いします。

(資料4～6について説明)

【師岡会長】

説明ありがとうございます。

ただいまご説明いただきました、次期子ども・若者育成支援計画は、現行の計画が令和6年で計画期間が終了するため、今年4月から1年かけて第2期目の計画を策定するものです。これは4月からの児童福祉専門分科会に課せられた大きな課題となります。資料6に皆様から頂いた意見と照らし合わせながら、また4月以降の議論で大事にしてほしい点を時間が許すかぎり意見交換をしていけたらと思います。資料6では項目ごとに皆さんの意見を取りまとめているので、まずは、計画全体に対しての部分の意見を頂けたらと思います。

【久保井委員】

現行計画の概要の主な課題で「DXの推進・マイナンバーカードの普及による利便性の向上と

活用の拡大」とありますが、これがあることによってどのような影響があるのかイメージがわかりません。どのようなメリットがあるのでしょうか。

【松本子どものしあわせ課長】

ありがとうございます。コロナの影響もあるのですが、DXの推進というのが強力に推し進められています。マイナンバーカードも以前は紐づけて進められていたんですが、今はマイナンバーカードとは違って、保育園の入園の申し込みを全国の共通基盤を使って電子化するとか、特別保育を電子申請にするとか、子育て相談を電子で相談ができるようにするとかそういった動きが強くなっているので、今後皆さんの生活にも入ってきて、保育園の入園の仕組み自体が変わってくるとかそういうことがあると思います。

【師岡会長】

他にはよろしいですか。

続いて、「基本方針1 ミライを担う子どもの育成に関する意見」に関していかがでしょうか。

【師岡会長】

特になしでよろしいですか。

それでは続いて「基本方針2 子どもを育む家庭への支援に関する意見」に関していかがでしょうか。

【師岡会長】

特になしでよろしいですか。

それでは続いて「基本方針3 子ども・子育てをみんなで支えるまちづくりに関する意見」に関していかがでしょうか。

【石井委員】

官民連携の推進についてですが、連携を進めるだけではなくて、役割分担を明確にするということを入れていただければと思います。

【師岡会長】

具体的に何かイメージされているものはありますか。

【石井委員】

今浮かんでいるのは、医療的ケア児で、民間ではなかなか難しいところを、官がどこまでやるのかということを明確にいただければと思います。

【松本子どものしあわせ課長】

医療的ケア児が配慮が必要な家庭や子どもに入ってくるかが微妙なところですが、大きな視点でも、現行計画では公立施設の役割、機能というのが載っています。「地域における中核的な役割」、「地域をつなげ、社会全体で支援を行うための連携の推進」というのが公立施設の役割とし

て明記されていますので、そこについては、継続していきたいと思います。

【設楽子ども家庭部長】

先ほどのつながるプラン(地域福祉計画)で、自助・共助・公助と言われますけども、単なる連携だけではなくて、それぞれの役割と責任ある行動による支援行動が成り立つものだというのが、上位計画にも謳われておりますので、そういった意識というものを計画全体に合わせていきたいと思っています。

【師岡会長】

今のご意見は、具体的に上げていただいたことなどは、先ほどの報告事項3「乳幼児期の教育・保育に関する方針について」にもリンクするということですね。そういったところでも施策のつながりというものもしっかりと抑えながら計画策定を進めていただければと思います。

【師岡会長】

他はいかがでしょうか。

それでは、「基本方針4 配慮が必要な子どもと家庭への支援に関する意見」についていかがでしょうか。

【串田委員】

2つ目の、「障害児と保護者の支援が必要。」に関してですが、いまひとり親だったり、障害児の保護者というだけじゃない人も増えてきている実感があります。この障害児と保護者というのは障害児の保護者なのか保護者が全般的に入ってくるのかによっても違うんですけれども、子育て中の保護者のケアというのを方針にも入れていただければと思います。

【松本子どものしあわせ課長】

今のご指摘の「保護者」については、ここでは基本方針の4なので、障害児の保護者だと思うんですけども、全体のところでは、「基本方針2 子どもを育む家庭への支援」のところで、妊産婦の健康など保護者に対する支援はあります。児童虐待ということであれば、御家庭への配慮というものもありますので、保護者全体ではここを必ず取り入れていく予定ではあります。

【師岡会長】

現行計画でもそうですが、先ほどの基本方針の4では、児童虐待、障害者支援、ひとり親支援、貧困対策というところもありますので、そのあたりも現行計画をしっかりと継承していただけたらと思います。

【松本子どものしあわせ課長】

いますでに児童虐待、障害者支援、ひとり親支援、貧困対策、外国籍というのが入っていて、新たな視点としてヤングケアラーも入ってきています。今までのがなくなるということはないです。

【師岡会長】

前回いただいたご意見は基本方針1～4に分けていただきましたが、現行計画にはもう一つ、基本方針5「若者の社会的自立に向けた応援・支援」があります。改めて次期計画を策定する際に若者支援というのもしっかりと推し進めていく必要が現行計画と同様にあります。

【岩本委員】

八王子市は大学がたくさんあるのに卒業と同時に出て行ってしまうのはもったいないと思うので、せっかくここで学んだ大学生に残ってもらうのが大事だと思います。八王子市は便利は便利なんですけど、都心に通勤するには結構大変ということがあって、八王子市に引っ越してきてそれが都内に勤める子育て世帯だったら働けないなとも思うので、若い世代で働きながら子育てする世帯への支援があったらいいと思います。

【師岡会長】

今日の報告にありました、子ども・若者育成支援センターは「はちびバ」に改称されますが、そういったところが周知されて、子どもだけでなく若者支援も行う新たな拠点が誕生したということも、基本方針5を具体的に進めていく目玉になると思いますので、そういった点も含めて若者向けのメッセージを発信するのも大事だと思います。

【内藤委員】

先ほど、八王子市にはたくさん大学生がいるのにもかかわらず、大学卒業とともに出て行ってしまうのは残念だと思うので、そういった方を引き留めるのが大事なと、大学生によっては孤立してしまって大学にも通えなくなったという方もいらっしゃると思いますので、そういう方たちが八王子市で元気と取り戻すような環境を作ることが必要だと思います。それから、寄りそいすぎるというのもあったと思いますけども、どこかで何が正しいのかというのは各々が考えていかないといけないということがあると思うので、いろんなジャンルやいろんな生き方があるというのも踏まえて見直していくことが必要だと思います。

【師岡会長】

他はよろしいですか。

それでは、皆様から出た意見も踏まえながら、市の方から示される諮問事項を踏まえて、分科会として答申をしていくという流れになると思います。ただでさえ、非常に幅広い計画ですので、メニューを絞った中でしていただかないと議論が分散してってしまうというのがあると思います。その点は、次の計画は持続性もありますので、重点の施策などに課題になった点をご提示いただく中で、回数の限られている次期計画策定のスケジュールで進めていただけたらと思います。

では、ここで進行を事務局にお返ししたいと思います。

【松本子どものしあわせ課長】

ありがとうございました。児童福祉専門分科会は今回の3年間の任期が最後になります。3月26日に認可部会はあるんですけども、最後の児童福祉専門分科会ということになります。最後に

子ども家庭部長から一言申し上げます。

【設楽子ども家庭部長】

3年間本当にありがとうございました。様々なご立場からの意見ご検討いただきましてありがとうございます。先ほど計画の策定の中で、八王子市はこども基本法や地域福祉計画ができたとしても理念は変わらないということで、かねてから子どもの権利を尊重した取り組みですとか、子どもを主体としたライフステージごとに所管が異なることでの切れ目のある所をつないでいく取り組みですとか、取り組んではいるものの、社会情勢の変化に応じて対応していかなければならないこともありますし、国が2030年度までが人口減少を食い止めるためのラストチャンスと言っている勢いにこれからも私どもも乗らせていただいて、さらにすべての子どもたちが大切にされて、幸せに感じられるような社会を作っていきたいと思っております。先日とある講演会で講師の方がお話しされていたお話で、SDGsというと2030年度までに達成すべき世界共通の17項目の目標ということなんですけども、簡単に言うと、将来に生きる人のための好い祖先になるのがSDGsだよねという風にお話をされていて、子ども政策というものも、今いる子育て家庭のためのということもあるんですけども、これから生まれてくる子どもたち、これから将来に生きる子どもたちや八王子市や社会や日本や世界や地球のために今我々ができることは何なのかというのがみんなで考えていくというのがSDGsであり子ども政策の基本になるのかなということで納得した部分もあります。八王子市はかねてから、行政・家庭・学校すべてが手を携えて、地域の子は地域で育てるということでやってきております。これからも、八王子市にはこれだけ皆様方のような応援団がいるということを心強く思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【松本子どものしあわせ課長】

ありがとうございました。これにて本日の会議を終了させていただきます。皆様お疲れさまでした。

《閉会》